- (1) 主題名 友だちを信頼する [小学校 2 (3)]
- (2) ねらい 互いに理解し合って,真の友情を育てていこうとする心情を育てる。
- (3) 資料名 「手の中のダイヤモンド」(出典:明日をめざして6年 東京書籍)

資料の概要

詩の形式をとった資料である。前段は家族や友だちに親切にされた時に感じる優しい気持ち,中段は友だちに裏切られた時の憎しみについて語り,最後に,自分の心のあり方で本当にわかり合える友だちが見つかると語っている。資料を通して,信頼することが人間関係の基礎であり,友情を育むもとになることに気付かせていきたい。

(4) 学習指導過程

(4) 子首拍导迥性			
	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	留 意 点
導入	1 「友だち」という言葉から思い浮かぶことを発表する。	「友だち」という言葉からどんなことが思い浮かびますか。 ・よく遊ぶ ・いっしょにいて楽しい ・何でも相談できる	イメージマップと いう様式でワーク シートに記入させ る。
展開	2 心とす 3 こし 「い書祭刊会」 こう 「い書をくを 残つ」 こう 「い書をうき だ思。 だまう まっい じゅう だま じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう しゅう じゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	心に強くがまでいた。 ・人をにくんだいない。 ・人をにくんだいない。 ・人がないがら気ないがは君の手の中にある 「がしたところのところがでいないがら気ないがです。 ・ダイをにはいけないないがである。 ・人がないがである。 ・人がないができるがでいる。 ・人をにくんがいるとをにくんがいませいがでいたがは君の手ののでいる。 ・人をにくんでいるを思いないがでいるがでいるがでいたがないがでいるがでいるがでいるがでいる。 ・自分ではないがでいるが思いるが思いができるができるがでいる。 ・信頼できる方がはませがいる。 ・信頼できる方がはないが、記してくれる。 ・ 大げなことが大切	心こりきい発をいげ感にちい語す「…をと友のか気友らン加にろー写を表述くてじ発にるりるダ」書予情心っ付だんでえ強をクし深のべつ話た表つこ合。イとく想はのてかちだ囲たくゆシなめ際さかしこさいとえ、ヤい児さ,持いせに思んり残っ一がさにせを合とせてをる、モう童れ自ちるるついださっくトらせはる取うを,思自よ、ンとがる分方こ。いをりせたりに,る理。り、自友っ由う、ドこ多、自にと、て赤書るとと書思、由、上、由だてにに、はろい、身かに、膨べき
終末	5 絵本の読み聞 かせを聞く。	総本「ともだち」を読みます。今日学習したことを考えながら聞いてください。 ・友だちっていいもんだ ・自分にもこんな友だちがいる	ゆっくりしみじみ と読み聞かせる。

実践報告にみる留意事項

1 資料・題材について

6年生になると思春期にさしかかり,友だち関係も複雑になってくる。信頼と友情に裏付けされた人間関係を築くことは,この時期の児童が心穏やかな生活をおくるためには大切なことだと考える。詩の形式をとった資料から,児童それぞれの感覚で友だちについての思いを膨らませてほしい。

2 指導過程の工夫

友だちについて思い浮かべることをイメージマップに記入することで,自分自身の友だちに対しての思いと向き合わせたいと考えた。導入時にイメージマップに書いた内容と,資料を読んで話し合った後で書き加えたイメージマップとを比べてみると,友だちについての思いが膨らんだり深まったりしていることがわかる。終末では,「ともだち」(出典:レイフ・クリスチャンソン岩崎書店)の絵本を読み聞かせ,信頼できる友だちがいることがどんなに素晴らしいことなのか,心に余韻を残しながら学習を終えた。

3 発問の工夫

「心に強く残ったのはどこですか。」という発問においてはたっぷり時間をとり,理由付けをしながら発表させていった。その展開の中から「ダイヤモンドは君の手の中にあるとは,どんなことを言っているのでしょう」という主発問へ導いた。この発問について考えることを通して,信頼できる友だち関係を築くのは,自分自身の心の持

ち方にかかっているということに気付かせ たいと考えた。

4 児童の反応

- ・人に無理に合わせるまでしんどい思いを するのは,本当の友だちではない。
- ・ダイヤモンドのように価値があり,自分 にとって大切な人がそばにいるのはいい なと思った。
- ・ダイヤモンドのような友だちは,いつか きっと自分のそばに現れると思う。

今まで漠然としか感じたことのなかった 友だちの存在について,改めて深く考える ことができたようだ。友だちとのきずなは 自分自身がつくっていくものなのだと気付 く児童もいた。

5 授業後のフォローアップ

友だちに対する思いとして発表したことを書き留めたイメージマップは,授業後,教室に掲示している。日々学級の児童がこの掲示を見ながら,これからも友情を育んでいってほしいと願っている。



(大野西小学校)